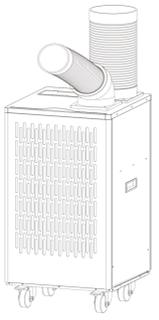


冷暖スターディスポットエアコンPR/自動首振り
PMSC-30NDJ

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しく使っていただくため、ご使用になる前にはこの「取扱説明書」をよくお読み下さい。
尚、安全のために、警告や注意・禁止事項は必ずお守り下さい。
お読みになった後は、必要時に再読出来るように大切に保管して下さい。



この取扱説明書は日本国内専用です。

正しい使い方

本体と電源の接続

1.電源は、直接コンセントへ差し込みください。

注意

●電源は直接コンセントからとるのが望ましいですが、
やむを得ず延長コードをご使用になる場合は、右表に
従ってご使用ください。
延長コードが細かったり、長すぎたりしますと電圧降下により
冷風が出ないことや運転しない場合があります。

電線の長さ	公称断面積
15m以内	2.0mm ²

2.アースネジに電源コードのアース端子を取付けてください。
(電気工事者によるD種接地工事が必要です。)

注意

次のところにはアース線を接続しないでください。
・ガス管…爆発や引火の危険性があります。
・水道管…プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
・避雷針・電話のアース線…落雷のときに大電流が流れ危険です。

警告

●電気工事、アース工事は資格が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。
●労働安全衛生規則第333条・第334条および電気設備の技術基準により、漏電遮断器の
取付け・接地が義務づけられています。
「漏電遮断機は15A、30mA、動作時間0.1sec以内の物をご使用ください」

安全上のご注意

本機を正しく安全にお使いいただくために、つぎの事項を必ずお守り下さい。
絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に
正しくお使いいただき、お客様のご使用に際する方への
注意や対策への理解を本製品に添付される方へ伝
える絵表示をしております。内容よくご理解されてから本文
をお読み下さい。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、
人身の被害または財産的損害の発生が想定される内容
を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、
人身の被害を負う可能性が想定される内容
を示しています。取扱いの注意が想定される内容
を示しています。

※お読みになった後は、お使いになる方がい
つも見られるところに必ず保管して下さい。

本体

- 記号は注意内容
- 記号は禁止内容
- 記号は指示内容
- 取扱い説明書
- 一般的な禁止
- 一般的な指示
- 電源プラグを抜く
- 高温注意
- 発火注意
- 破裂注意
- 分解禁止
- 接触禁止
- 巻き込まれ注意

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容
を示します。

- 電源プラグの抜き差しによる運転や停止をしない。
感電やショートの原因になります。
- 製品の上に乗ったり物を載せたりしない。
転倒・落下によるケガ、こぼれた水による漏電などの原因になります。
- 可燃性のスプレーを近くで使用しない。
また、近く可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで発火の原因になります。
水のかかるところでの使用禁止。
- 電源プラグは定期的に確認する。
ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災などの原因になります。
ブレーカー付タップの取り付けが必要です。
ブレーカー付タップが取り付けられていないと製品の破損や、発火の原因になります。
漏電しゃ断器の取り付けが必要。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になります。
漏電しゃ断器の作動を定期的に確認する。
譲渡されるときは取扱説明書を添付してください。
- 空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒などを入れない。
内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。
- 電源プラグの差し込みは確実に。
使用時以外は電源プラグを抜く。電源プラグを抜くときは、プラグの先端を持って抜く。
使用時は電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や火災の原因になります。
日常点検、手入れ時にも必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。
長期使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜く。
ホコリが溜まると発熱・発火の原因になります。
ホコリが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災の原因になります。

使用上の注意 (警告)

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。

接触禁止
濡れた手でスイッチ操作などをしない。フィンに直接手を触れないでください。
また、電源プラグなどの電気部品には触れないでください。感電の原因になります。

分解禁止
改造はしない。改造された場合は、保証対象外となります。
専門業者以外の方は絶対に分解、修理をしない。
分解、修理に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災などの原因になります。

フィルターを閉けたまま運転しない。
機械内部に触れるとケガ・感電の原因になります。
製品や機械室に直接水をかけない。
また、水を使って洗わないでください。感電や火災などの原因になります。
電源コードを破損したり加工しない。
重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、はさまんだりすると電源コードが破損し、
感電や火災などの原因になります。

異常時は運転を続けると感電・火災などの原因になります。
異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。
漏電しゃ断器が作動したときは、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。
無理に電源の後押をする、感電・火災などの原因になります。
移設は専門業者にご相談ください。

搬入付けに不備があると、水などの流れ、感電・火災などの原因になります。
電源は専用コンセントを使用してください。
電源コードの途中接続、タコ足配線などは、感電・火災などの原因になります。
清掃・整備・点検のときは、元電源をしゃ断する。感電やケガ、火傷などの原因になります。

アース線を必ず接地すること。
アース口コンセントを使用してください。
アース端子が無い場合はアース接地工事を行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針などに
接続しないでください。アース接地工事が不十分だと、感電の原因になります。
(電気工事者によるD種接地工事が必要です。)

電源は専用コンセントを使用してください。また、電源コードは途中で接続したり、
タコ足配線を使用しないでください。感電や発熱・火災の原因になります。
異常時は運転を止めてから元電源をしゃ断し、技術相談窓口または専門業者にご相談ください。
異常のまま運転を続けると感電・火災などの原因になります。
換気する際は本体機の取っ手を使って移動させてください。
移動時は本体機の出っ張りが出るため、手を入れないでください。
底部分はネジの突起が出ているため、手を入れないでください。

仕様

型式	PMSC-30 NDJ
電源	単相100V 50/60Hz
冷房能力	2.5 /3.0kW
暖房能力	1.55 /1.75kW
消費電力 (冷房)	1.15 /1.3kW
消費電力 (暖房)	1.25 /1.3kW
定格電流 (冷房)	12.2 /13A
定格電流 (暖房)	12.6 /13A
圧縮機	全閉ロータリー定格出力675W
冷媒	HFC R32 地球温暖化係数：GWP675
冷媒封入量	300g
圧縮機保護装置	オーバードロッププロテクター
除湿処理方法	ドレンレス
外形寸法	W405xD430xH825mm (ダクト含まず)
電源コード	約2m
質量	約47kg
冷房使用環境	18～55℃
暖房使用環境	0～22℃

※上記冷房能力や電気特性は周囲温度 35℃ 相対湿度 60% の条件で強冷風運転時の値です。

注意

- 運転後、冷媒が落ち着くまで3時間以上時間をおいてから電源を入れてください。
- スイッチを「O」にした直後、すぐに運転を再開しないでください。
必ず3分以上お持ちになってから運転をおこなってください。
・保護機能が働き、冷えない(冷風がでない)場合があります。
- 電圧の低下などによる過電流や異常過熱から圧縮機(コンプレッサー)を保護するために保護機能(オーバードロッププロテクター)が作動します。

廃棄について

本製品はフロンガスが使用されており、フロン排出抑制法における第一種特定製品として扱われます。
廃棄するときは下記にご注意ください。
※本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。廃棄する
場合は、専門の回収業者に委託し適切に処理してください。廃棄についてご不明な点は、各地方
自治体の窓口にご相談ください。

ドレンレスについて

操作方法

4.ドレンレスについて
本機は、除湿したドレン水は内蔵の気化装置で気化させ、排気と一緒に
排出させます。
この方式より、除湿水は本機内部でほとんど発生されるため、ドレンレスです。
本機は、ドレン水を感知する機能が付いています。
方が、ドレン水は排水タンクに溜まり、排水タンクが満水になると「滴」ランプが
点灯し運転が停止します。
底部のドレンコックから排水タンクを回して水を捨ててください。
※移動の際は、念のため底部のドレンコックから排水タンクを回して水を排出してください。
シランフアや長期的使用の場合は、底部のドレンコックからドレン水を
捨ててください。

お手入れと保管

お手入れ

1.フィルターのお手入れ
・フィルターを外せる位置まで冷風ダクトを回転させフィルターを
上に引き上げしてください。
・フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。
・汚れのひどいときは、水洗いしてください。
・フィルターは、完全に乾かしてから取付けてください。

●フィルターの掃除はこまめに行ってください。
・フィルターが汚れていると本体内部が結露し、故障の
原因となります。

2.本体のお手入れ
・やらかい布などを水またはぬるま湯に浸し、たたくしぼってから使用ください。
・汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯を使用してください。
その場合、乾いた布などできれいに拭き取ってください。

●直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。
●アンダーベンジン・漂白剤・洗剤・粉等を使用しないでください。
・塗料を付けたため、故障の原因になります。
●化学ぞうきんを使用の場合は、その注意に従ってください。
●周囲の湿度が18℃未満ではありませんか?
→本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。

●周囲の湿度が18℃未満ではありませんか?
→本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。
フィルターが汚れていませんか?

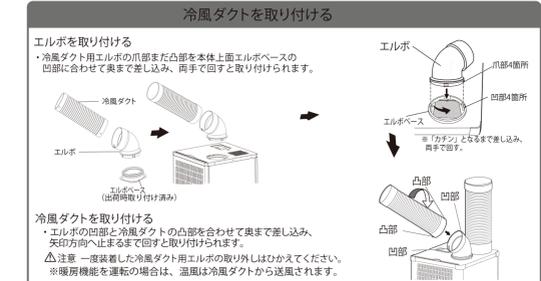
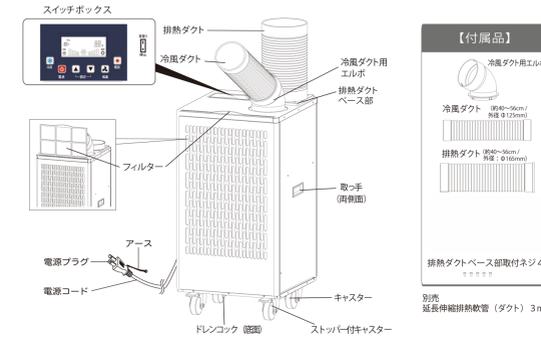
修理・保管等を取り外す場合のご注意

冷風ダクトを取外す
本体から、冷風ダクトを取り外す際は、冷風ダクトをゆっくり
右側へ止まるまで引き上げてください。

●一度装着した冷風ダクト用エルボの
取り外しは、ひかえてください。



各部名称と機能



排熱ダクトの取り付け

排熱口にベース部を付属ネジ4本で取り付け、排熱ダクトを奥まで差し込む。

●冷風ダクトと排熱ダクトの中にも落としたり、棒などを入れない
でください。内部を傷めたり、故障の原因になります。
●冷風ダクトと排熱口を塞がないでください。故障の原因になります。

本体の設置

- フィルター・冷風ダクトは吹き出し口から30cm以上、離して設置してください。
- フィルターは前面のみですので、壁に寄せて設置できます。

●フィルターの前面、冷風ダクト・排熱口の吹き出し方向に障害物
を置かないでください。
●排熱ダクトからは熱風が排出されますので、熱に弱いもの等に
直接熱風が当たらないように注意してください。
●窓際・橋脚等、著しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する
場所に設置しないでください。ガス漏れや、性能を低下させる
恐れがあります。換気の出来る環境で使用してください。
※移動時以外は、前輪キャスターのストッパーをロックしてからご
使用ください。
※スポットエアコンは排気ダクトが室内の場合は換気しながら使用してください。



前輪キャスターにはストッパーが装備されています。
移動時以外は、キャスターのストッパーをONにして本体が動かないように固定してください。

保証とアフターサービス (必ずお読み下さい)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等のお取
扱店に保管してください。修理の際は保証書をご提示下さい。保証書の規定に従
っていただき、大切に保管してください。

●保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示下さい。保証書の規定に従
っていただき、大切に保管してください。

●保証期間が終了しているときは
修理が出来る場合には、ご希望により有償修理させて
いただきます。

保証書

保証期間 お買い上げ日より1年間

持込修理

お手入れと保管 (つづき)

保管

- 「お手入れ」方法に従って、お手入れしてください。
- シーズンオフや長期的使用の場合は、底部のドレンコックからドレン水を捨て、乾燥させてから保管してください。
- 1時間ほど本体内部を乾燥させてください。
- ホコリがたまりないように適当なカバーをかけてください。
- 部品をなくさないように、保管してください。
- お手持の手の届かないところに保管し、湿度の高いところ、風雨にさらされること、直射日光
の当たるところはさけてください。

●保管するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・感電やケガをする原因となります。
●本機を倒壊して保管しないでください。
・再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因になります。

※熱交換器、シリコファンなどの内部掃除は、お買上げの販売店または保証書に記載されている
お客様相談窓口にお問い合わせください。

「故障かな?」と思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

症状	お確かめください
スイッチを入れても 運転しない	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか? 電源が「お休み」中か? ブレーカーが切れていませんか? 保護機能(オーバードロッププロテクター)が作動中ではありませんか? ドレンコックを切り、3分以上待ってから再運転してください。 フィルター・冷風吹き出し口・排熱口の障害物で塞がっていませんか? フィルターの汚れがひどいままですか? 周囲の湿度が55℃をこえていませんか? →本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。
冷えない	底部のドレンコックの排水タンクが満水になっていませんか? ドレンコックの排水タンクを回して水を捨ててください。 周囲の湿度が18℃未満ではありませんか? →本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。
水が漏れる	除湿機能のドレンコックが詰まっていますか? ドレンコックを回して水を捨ててください。 周囲の湿度が18℃未満ではありませんか? →本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。
霜が付く	周囲の湿度が18℃未満ではありませんか? →本機は18℃～55℃の範囲でご使用ください。

次のような場合には点検・修理が必要です。

長年ご使用のスポットエアコンは点検を!

●ご使用の際のご様子はいかがですか?
●ご使用中止
●スイッチを入れても時々運転しないことがある。
●運転中に異常な音や振動がする。
●本体が変形している、異常に熱い。
●集積量「お買い上げ」がする。
●その他の異常がある。

故障や事故防止のため、電源
を切り、電源プラグをコンセ
ントから抜いてからお買上げの
販売店にご相談ください。

※お客様ご自身で修理されたら、
手を加入りすると危険で
その危険におよびます。

上記症状がなくても、お買上げ後4～5年程度たりましたら、安全のため点検
をご依頼ください。点検費用につきましては販売店にご相談ください。